

全国で 48 番目、神奈川県で 6 番目のシーバード拠点「シーバード小網代」設立

4 月 20 日、全国で 48 番目のシーバード拠点として「シーバード小網代」(神奈川県)の開所式が行われました。開所式には、湘南エリアのシーバード(SB 茅ヶ崎、SB サーフ 90 藤沢、SB 西浜、SB 逗子、SB 葉山)が PWC にてお祝いに駆けつけ、新しく仲間入りした隊員達にエールを送りました。

式典の後にはレスキューデモと水難救助訓練を開催し、湘南シーバード拠点や公務救難機関との連携強化の大切さや救助のノウハウを学びました。また「湘南の水辺を守るシーバード」として活動していくことを誓いました。

ご来賓の三浦市副市長 星野拓吉氏は「三浦市は三方が海で囲まれており、多くの観光客や海のレジャーを楽しむ人が訪れます。しかし昨今ではマナーの悪さや事故の危険なども懸念されています。

また三浦市には子ども達に向けた『海洋教育研究所』という海洋教育プログラムを実施する施設がございます。これからは『海洋教育研究所』とも連携し水上オートバイの機動力を生かし、海の安全安心に向けて、また子ども達の体験学習に貢献いただくことを期待しています」と挨拶されました。

またシーバード小網代代表の新通弘二氏は「今までもこのマリーナでは『海とつながるプロジェクト』『海と学ぶプロジェクト』という海洋普及活動を行なってきました。シーバード小網代の活動として、今まで以上に小網代漁業組合や地域の方達と連携し、海の安全安心、親水活動に力をそそいでいきます」と決意を語りました。

以下、写真の説明です。



シーバード小網代（神奈川県）が誕生。式典には三浦市副市長 星野拓吉氏はじめ多くのご来賓にご参列いただいた



湘南のシーバードメンバーからもノウハウを学び活動していきたいと小網代の隊員達



湘南エリアのシーバード隊員達が仲間入りしたお祝いに PWC で駆けつけた



開所式式典の後に湘南エリアのシーバード6拠点によるレスキューデモと訓練を行なった